

**大学等の所在する自治体からふるさと納税を通じた支援。寄付金の払込方法の拡大**

学校法人北里研究所

**【ふるさと納税について】**

北里研究所は、3つの自治体からふるさと納税を通じて補助を受けています。

北里大学獣医学部附属フィールドサイエンスセンターの牧場がある北海道八雲町は、獣医学部との間で2015年に協定を結び、「北里八雲牛」の生産拡大と畜産を担う人材育成を目的としたプロジェクトを推進しています（資源循環型「北里八雲牛生産拡大プロジェクト」）。このプロジェクトがふるさと納税の使途の一つとなっており、「北里八雲牛」を使用した製品も返礼品としてラインナップされています。

北里大学保健衛生専門学院及び2024年度に新設される、健康科学部のメインキャンパスであり新潟キャンパスの所在地である新潟県南魚沼市では「学ぶ喜び・文化をはぐくむまちづくり事業（教育・文化）」の一環として、北里大学保健衛生専門学院（専門学校）への支援を行うことができ、ふるさと納税の使途の一つとなっています。

法人本部と大学附属病院（北里研究所病院）がある東京都港区でも、ふるさと納税の一部である「団体応援寄付金」の一環として寄付を受け付けています。寄付の際に対象団体を指定することで、

北里研究所が支援対象となります。



北里八雲牛

**【募金活動の体制について】**

法人本部では、専任職員が募金事業を担当しています（2023年度現在2人）。募金活動は専門知識が必要な業務であり、担当する職員においても中長期的な研鑽と経験の積み重ねが必要であるため、非正規や有期雇用の職員ではなく専任職員が担当する体制になっています。また、寄付者側としても、寄付や税金控除に造詣の深い職員が担当する安定感に加え、顔見知りの職員がいつも窓口にいることによって得ら

れる親近感が、寄付者側の安心感を醸成し、法人と寄付者のつながりが強化され、恒常的な寄付のきっかけになっています。

また、学部ごとに募金活動の特色や寄付の使途が異なる点が北里大学の大きな特徴の一つであり、募金活動を各学部主導で実施することも多くなっています。各学部の周年記念事業の際には、当該学部から卒業生に寄付を呼び掛けるなど、それぞれの強みを生かした募金活動を展開しています。

さらに、法人では現在、寄付継続者向けにホームページでの情報発信に力を入れています。寄付継続者は法人ホームページの情報頻りに関心している傾向があり、新たな募金事業の案内がホームページ上で出されると、すぐに寄付が入ることもあります。ホームページでの定期的な情報発信が、恒常的な寄付募集に役立っています。



寄付のページ

**【様々な募金活動】**

2023年現在、前述のふるさと納税の他にも、法人では様々な募金活動を展開しています。

(1) いのちの mirai 募金

法人の恒常的募金として、実学で未来に貢献するというミッションを果たすための4つの使途

①教育研究に要する経常的経費

②北里精神の継承

③奨学制度の充実

④新学部・新領域の開拓・設置

から1つ選択して寄付することができ募金です。寄付者には、寄付金額に応じた返礼品が贈呈されます。

(2) 特定プロジェクト募金

①感染症に立ち向かう大村智記念研究所募金

大村智記念研究所で取り組んでいる、感染症対策の基礎研究と創薬研究を展させるための目的に対し、寄付を募っています。総額5千万円を目標とし、2021年4月1日〜2025年3月31日にかけて募集されています。

②医学部創立50周年記念事業募金

③海洋生命科学部創立50周年記念事業募金

④看護学部創立35周年記念事業募金

⑤北里研究所創立110周年・北里大学創立60周年記念募金

法人・大学創立及び、各学部の周年記念募金を複数展開しています。それぞれ目的を定め、各募金の趣意に沿った使

途を設定し、募金活動を行っています。

(3) 北里大学リサイクル募金

本、CD、DVD、ブランド品などの換金額を寄付することができる募金です。法人が委託する業者が、不用品の集荷、査定、換金まで担っています。リサイクル募金による寄付金は、奨学金運営費や課外活動費などの学生支援として活用されます。

その他、法人では、2018年頃から遺贈に対しても対応を行っており、総務部企画課を窓口として、遺贈に関するあらゆる質問に常時対応できるようにしています。また、寄付者の希望に沿った形で手続きが行えるよう相談を受け付けています。

遺贈に関する相談は、遺贈を希望する本人から直接受けることもあれば、専門家を介して受けることもあります。また寄付者が希望した場合、信託銀行の活用も紹介しており、信託銀行を通じた遺贈の場合、信託銀行などの手続きにかかる手数料を差し引いた金額が法人に寄付されます。

今後も寄付受け入れ方法の拡充に努めることとしています。

### 【寄付者の層の拡大に向けた取り組み】

インターネットを利用してクレジットカードやペイジーから寄付する場合は、継続寄付も可能となっており、毎月、年2回、年1回の3パターンから選択することができます。法人では、募金の利便性向上による寄付の増加を目指し、